

# CX Cloudリリースノート2024年7月

## 内容

---

[概要](#)

[最新情報](#)

[CX Cloud Agent v2.4](#)

[契約の接続および管理](#)

[動的資産グループ](#)

[不具合](#)

---

## 概要

Customer Experience ( CX ) Cloud はあらゆるアーキテクチャにまたがって、新しいテクノロジーのオンボーディング、最適化、導入の全工程にわたりお客様の成功を実現する SaaS ソリューションです。Cisco Success Tracks サブスクリプションをお持ちのお客様は、以下の機能にアクセスできます。

- コンテキスト学習:Ask the Expert(ATX)オンラインセミナー、成功のヒント、アクセラレータのエンゲージメント、トレーニングを通じて、ネットワークエンジニアおよびアーキテクト向けの最新リソースを利用できるコラボレーションインテリジェンスプラットフォームのウィンドウ
- 信頼できるサポート：ソフトウェアおよびソリューションレベルで、即時の技術的な問題を解決し、予防的かつ規範的なサービスオプションを取得します。
- 洞察と分析：予防的かつ予測的な洞察を提供し、お客様が潜在的な問題を認識し、運用を最適化し、テクノロジーの導入と移行を加速するのに役立つデジタルインテリジェンスツール
- エキスパートリソース：詳細な設計と検証、および業界固有のソリューションに関する戦略的な専門家のアドバイスにアクセスすることで、利用可能なすべてのアーキテクチャとシスコ製品をワンストップで利用できます。

このドキュメントでは、CX Cloudの新機能、解決された不具合、および既知の問題について説明します。この[リンク](#)を使用して、CX Cloudにアクセスし、CCOクレデンシャルでログインします。

## 最新情報

このセクションのリリースノートでは、2024年7月のリリースの一部として有効になった機能の詳細が説明されています。

CX Cloud Agent v2.4

CX Cloud Agent v2.4がリリースされ、より大規模で複雑なネットワークを効率的に管理できるようになりました。主な機能は次のとおりです。

- 複数のCX Cloud Agentインスタンス：最大20のCX Cloud Agentインスタンスを追加できます。これにより、分離された収集操作を必要とする複数のCX Cloud Agentインスタンスからのテレメトリデータ収集が可能になります。
- 複数のIPサブネット：複数のIPサブネットを各CX Cloud Agentインスタンスに追加することで、お客様のネットワーク内の複数の異なるIP範囲にわたってテレメトリデータを収集できます。
- 柔軟なOVA:お客様は柔軟にハードウェアリソースの割り当てを増やすことができ、ネットワークの規模と収集要件に基づいてシームレスなデータ収集が可能になります。中規模から大規模の構成向けのFlexible Open Virtual Appliance(OVA)は、VMware ESXi仮想マシンでのみ使用できます。

注:Oracle Virtual BoxおよびWindows Hyper-Vは、柔軟なOVAを使用して中規模から大規模の構成にアップグレードすることはできません。

詳細については、『[Cisco CX Cloud Agent](#)』のページを参照してください。

## 契約の接続および管理

CX Cloud管理者は、サポートケースを作成することなく、Contractデータソースを介してコントラクトをそのアカウントに接続できるようになりました。さらに、契約詳細ビューが更新され、サポートタイプ、開始日、終了日、契約ステータスなどの契約の詳細を説明する列が新しく追加されました。その他の詳細は次のとおりです。

- Manage Contractsボタンは、Remove ContractsボタンとAdd Contractsボタンに置き換えられました
- 契約を削除するには、引き続きサポートケースを作成する必要があります
- エクスポートされた.csvファイルには、新しく追加された契約詳細と更新されたファイル名が含まれます

## 動的資産グループ

CX Cloudでは、Admin Center > Asset GroupsページでDynamic Asset Groupsを導入することで、資産グループの作成プロセスが改善されました。この合理的なアプローチにより、手動によるグループ作成の必要性がなくなり、最小限の労力で資産グループを最新の状態に保つための自動化された方法が提供されます。管理者は、新しく追加されたCreateドロップダウンリストからDynamic Groupを選択し、Group NameとオプションのDescriptionを指定し、既存の属性を使用してルールを定義することにより、動的資産グループを作成できます。静的グループを作成するには、CreateドロップダウンリストからStatic Group from CSV Fileを選択する必要があります。さらに、Assets GroupsページにGroup Type列が追加され、管理者がグループをダイナミックまたはスタティックとして簡単に識別できるようになりました。

## 不具合

このリリースの一部として報告すべき解決済みまたは既知の問題はありません。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。